

令和7年度進行管理・評価シート
栃木市歴史的風致維持向上計画（平成31年3月26日認定）
（最終変更 令和8年5月22日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 歴史的風致維持向上計画の実施体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 都市計画法との連携	2
2 景観計画との連携	3
3 屋外広告物について	4
4 栃木市歴史的町並み景観形成要綱について	5
5 重要伝統的建造物群保存地区との連携	6
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 歴史的風致形成建造物修理・修景事業	7
2 嘉右衛門町伝建地区拠点施設整備事業	8
3 伝統的建造物公開活用事業	9
4 嘉右衛門町伝建地区修理等事業	10
5 伝統的技術継承事業	11
6 嘉右衛門町伝建地区防災施設等整備事業	12
7 村檜神社修理整備事業	13
8 景観重要建造物保全事業	14
9 歴史的町並みに関する修景助成事業	15
10 景観形成重点地区指定に関する調査事業	16
11 無電柱化事業	17
12 祭礼・民俗芸能等の記録保存事業	18
13 指定無形の民俗文化財保存事業	19
14 山車等の保存・修理補助事業	20
15 渡良瀬遊水地環境保全事業	21
16 農業体験(グリーンツーリズム)事業	22
17 6次産業化推進事業	23
18 情報発信事業	24
19 文化財データベース整備・発信事業	25
20 文化財マップ作成事業	26
21 案内板等整備事業	27
22 歴史・文化に関する解説ボランティア人材育成事業	28
23 嘉右衛門町伝建地区及び周辺整備事業	29
24 ポケットパーク整備事業	30
25 駐車場整備事業	31
26 旧日光例幣使街道交通体系検討調査事業	32
27 歴史文化資産ネットワーク形成事業	33
28 公共サイン整備事業	34
29 歴史的観光資源高質化支援事業	35
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の調査、指定、保存管理について	36
2 文化財の修理、周辺環境整備、防災に関する事業について	37
3 文化財に関する普及・啓発、防災訓練、団体支援について	38
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 栃木市の歴史的風致に関する報道	39
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 観光客入込数の推移	40
2 大河ドラマを活用した周知による本市の認知度向上ならびに観光客数の影響	41
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	42

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

歴史的風致維持向上計画の実施体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------------	---

計画に記載している内容
 蔵の街課と都市計画課、文化課を事務局とした庁内推進組織を設置するとともに、「栃木市歴史的風致維持向上協議会」において、計画の推進や変更等の連絡・調整・協議等を行い、事業の推進を図る。
 また、必要に応じて、都市計画や景観、文化財保護等に関する審議会、文化財や歴史的建造物の所有者等との連絡調整を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

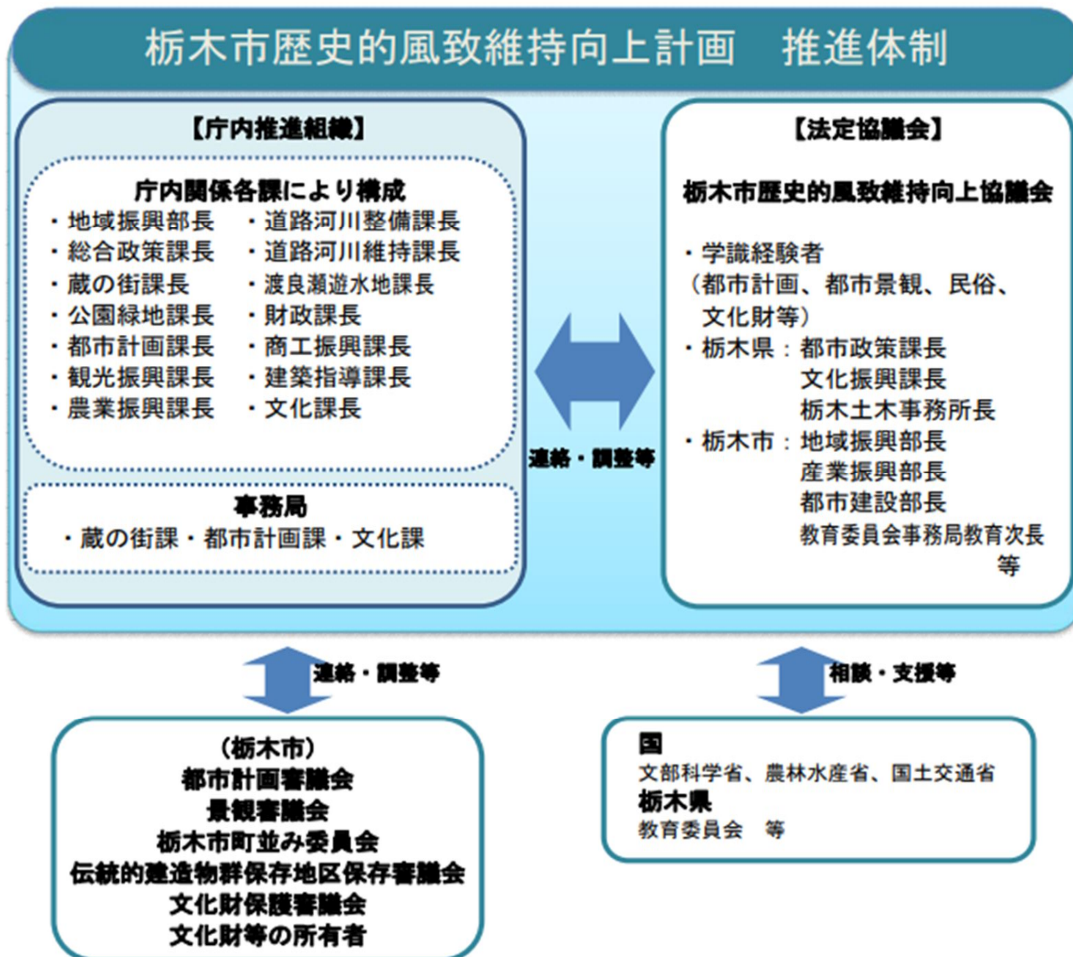
栃木市歴史的風致維持向上協議会を令和8年2月19日に開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○計画の推進体制



○協議会等の開催状況

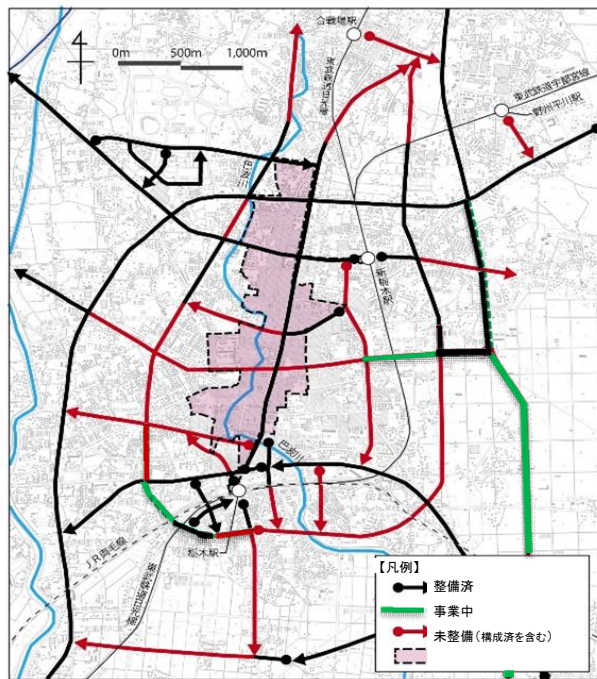
- ・栃木市歴史的風致維持向上協議会
 令和7年度進捗評価管理シートに関する意見照会

令和8年2月19日

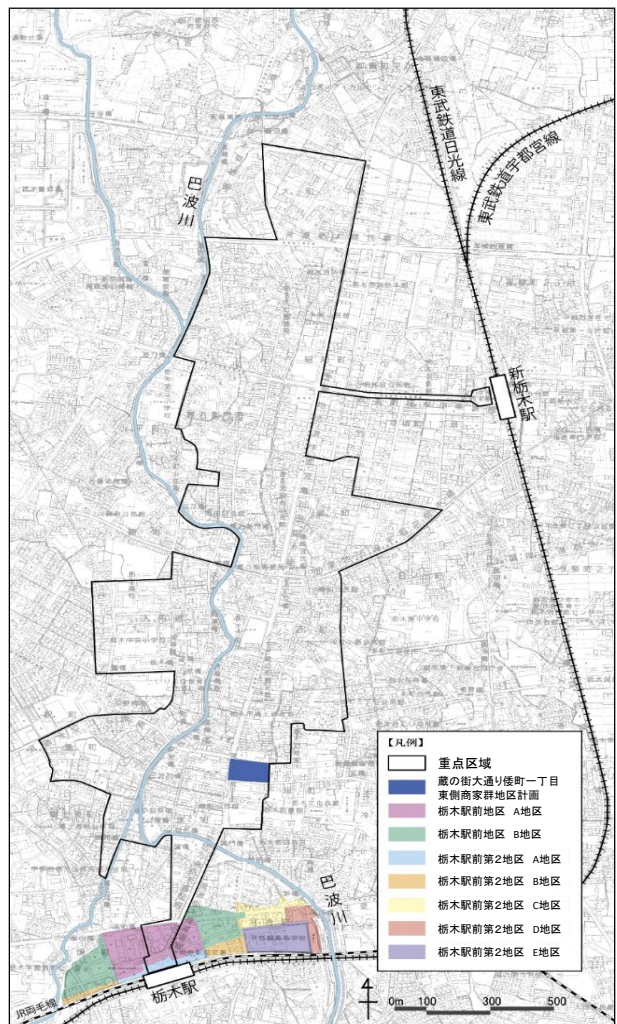
評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和7年度
			現在の状況
都市計画法との連携			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	栃木市は、市域全体が都市計画区域となっており、重点区域の2区域は、「旧日光例幣使街道及び巴波川周辺区域」が市街化区域、「村檜神社区域」が市街化調整区域である。 区域区分及び用途地域の適切な土地利用の規制誘導により周辺環境との調和に努め、特に価値が高いと判断された建造物群で、保存措置が必要な場合は伝統的建造物群保存地区制度の活用を検討する。 また、地区の特性に応じた、計画的できめの細かいルールを定める制度を活用して、周辺に見られる歴史的風致との調和に努め、良好な市街地環境の形成を図る。 歴史的な町並みが残る栃木地域の中心市街地において、必要性等の再検証が必要な都市計画道路の検証・見直しを図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的な町並みが残る栃木地域の中心市街地における建造物群の今後の保存・活用の方法について、伝統的建造物群保存地区制度の活用や同制度活用に伴う課題の有無等、庁内関係課との検討を行った。 また、3か所の地区計画に、各地区の特性に応じた制限を定め、将来にわたって周辺環境と調和した快適で魅力ある歴史的景観の形成を図った。 蔵の街大通り倭町一丁目東側商家群地区計画 令和7年度:届出件数 0件(令和6年度:届出件数 1件) 栃木駅前地区計画 令和7年度:届出件数 0件(令和6年度:届出件数 0件) 栃木駅前第2地区計画 令和7年度:届出件数 2件(令和6年度:届出件数 0件)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		課題を整理し、関係各課と実現に向けて検討をしていく。	

状況を示す写真や資料等



都市計画道路の整備状況



地区計画と重点区域

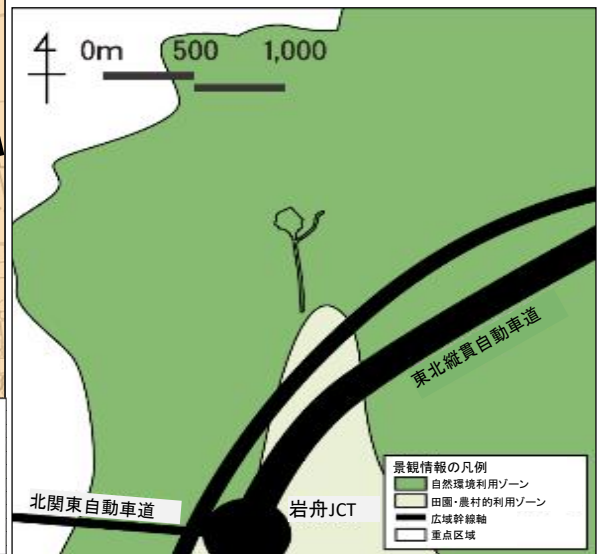
評価軸②-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和7年度
			現在の状況
景観計画との連携			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	栃木市では、平成27年に景観法に基づく栃木市景観計画を策定するとともに、あわせて栃木市景観条例を制定し、総合的な景観形成を進めている。市内各所に広がる歴史的風致について、事業展開に合わせて景観計画と連携する。また、歴史的風致維持向上計画の重点区域である「旧日光例幣使街道及び巴波川周辺区域」の一部のエリアと「村檜神社区域」については、景観計画において景観形成重点地区の候補地として設定しているため、重点地区指定について検討を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
良好な景観を守るため、栃木市景観計画に基づき、届出のあった建築行為等の計画に対し適宜指導等を行い、規制内容に適合するよう誘導した。 令和7年度:届出件数 42件 うち、重点区域 0件(令和6年度:届出件数 34件 うち、重点区域0件) 本市の歴史的風致は、市内各所に点在していることから、景観計画の景観構造別の景観形成方針による誘導をさらに推進するため、庁内関係課と課題や取組等を共有した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



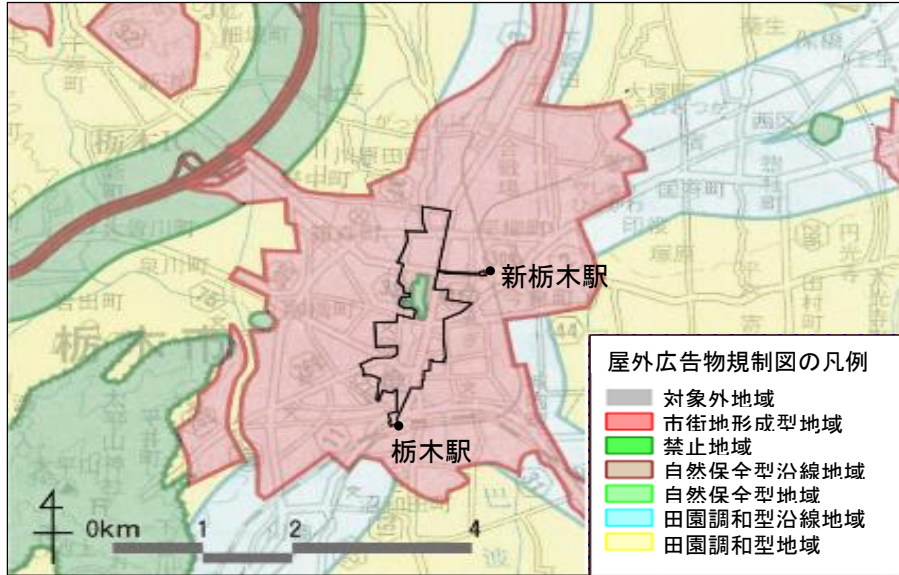
景観構造図(旧日光例幣使街道及び巴波川周辺区域)



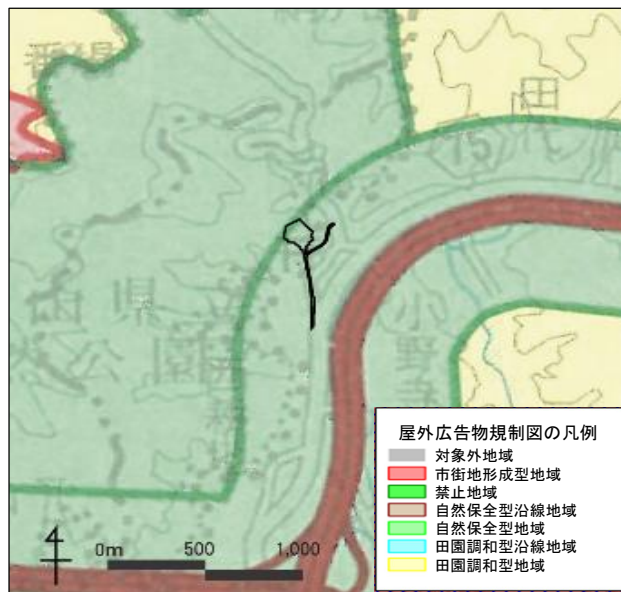
景観構造図(村檜神社区域)

評価軸②-3
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
屋外広告物について			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	栃木市における屋外広告物は、栃木県屋外広告物条例により規制されている。 重点区域は禁止地域と許可地域が混在し規制内容が異なっているため、良好な環境が阻害されることが懸念される。 今後は、市独自の屋外広告物の設置規制や適正な維持管理を行う市屋外広告物条例の制定を目指す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「栃木県屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物に対し規制誘導及び設置許可を行った。 令和7年度:許可件数(市全域) 267件(令和6年度:許可件数(市全域) 248件) 屋外広告物の規制誘導により、良好な景観形成が図られ、歴史的風致の維持向上に効果があった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後は、市独自の屋外広告物の設置規制や適正な維持管理を行う市屋外広告物条例の制定に向けて、県内で独自条例を制定している宇都宮市・那須塩原市・日光市・那須町の条例を調査研究する。		
状況を示す写真や資料等			



屋外広告物規制図(旧日光例幣使街道及び巴波川周辺区域)



屋外広告物規制図(旧日光例幣使街道及び巴波川周辺区域)

**評価軸②-4
重点区域における良好な景観を形成する施策**

項目	評価対象年度	令和7年度
	現在の状況	

栃木市歴史的町並み景観形成要綱について	<input type="checkbox"/> 実施済
	<input checked="" type="checkbox"/> 実施中
	<input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 栃木市では、平成2年に栃木市歴史的町並み景観形成要綱を制定し、同要綱に基づき歴史的建造物の外観やそれらに付随する工作物の修景整備を進めている。
 今後は、景観形成補助金制度の拡充について検討するとともに、町並みの連続性を阻害している建物の外観について、歴史的町並みに調和した形態、意匠となるよう整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

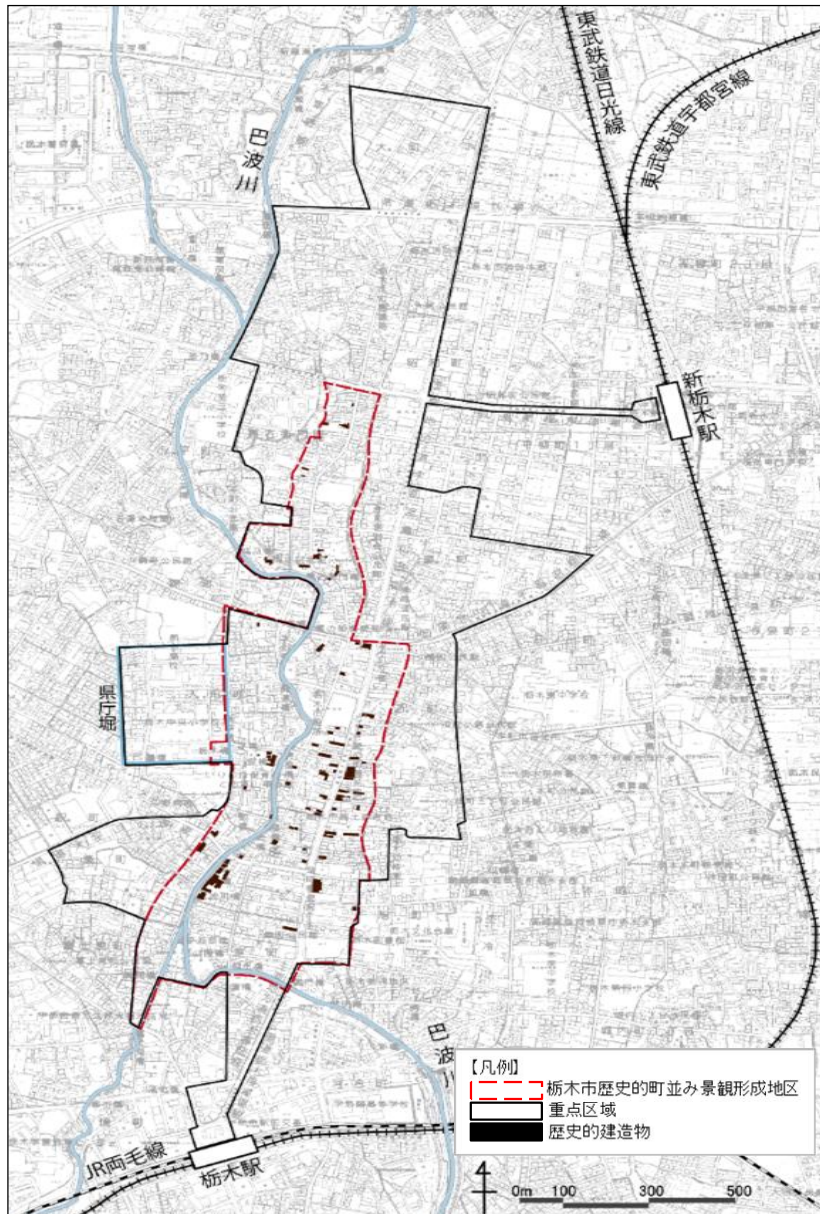
栃木市歴史的町並み景観形成地区内において建築行為等を行う場合、「栃木市歴史的町並み景観形成要綱(最終改正:H28.3.31)」及び「栃木市町並み修景ガイドライン」により、届出を受け、良好な歴史的町並みを形成するため、基準に沿うよう指導した。
 令和7年度:届出件数 11件(令和6年度:届出件数 8件)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○栃木市歴史的町並み景観形成地区と歴史的建造物の位置



評価軸②-5
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度
	令和7年度 現在の状況
重要伝統的建造物群保存地区との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区(伝建地区)は、保存計画に基づいた文化財としての伝統的建造物群の保存を進めながら、伝建地区周辺環境の保全・整備を一体的に行い、歴史的資源を活かしたまちづくりを推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

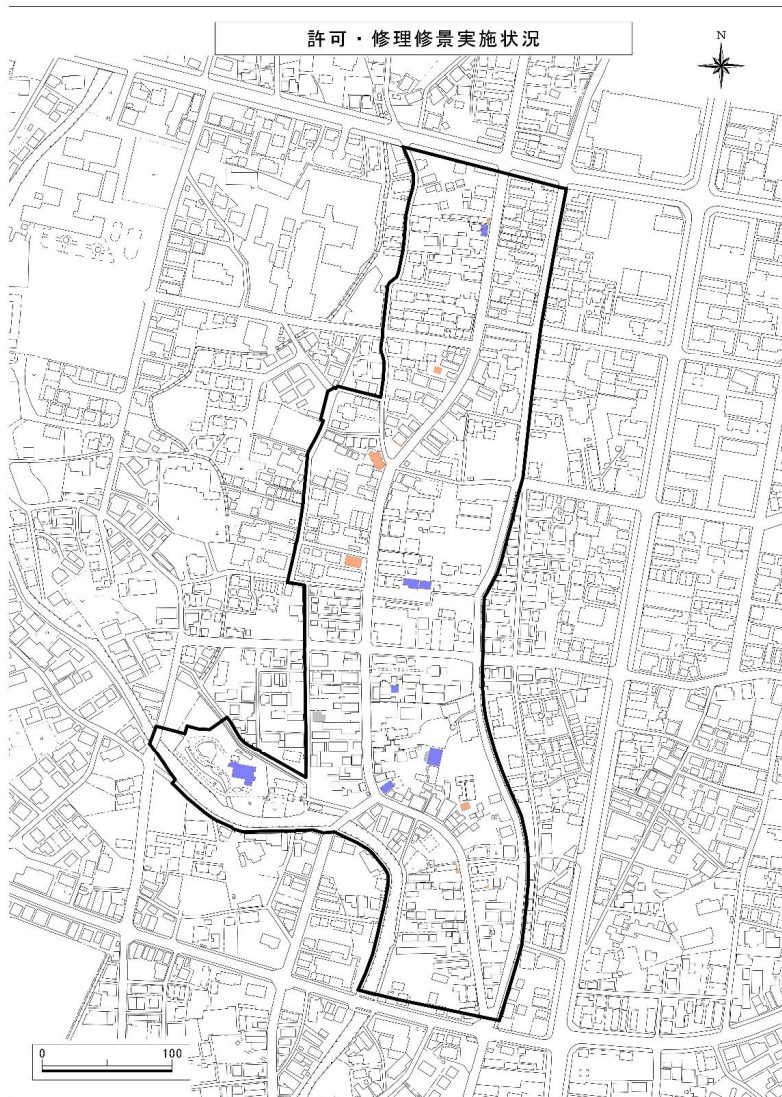
伝建地区内における現状変更行為等について、事前相談・協議を行い、現状変更行為の許可事務を行った。また、修理修景事業への補助を実施することで、伝建地区の歴史的風致の維持向上を図った。
 令和7年度:許可件数 21件、修理件数 6件、修景件数 0件
 (令和6年度:許可件数 23件、修理件数 5件、修景件数 1件)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



凡例

- 伝統的建造物修理
- 伝統的建造物以外許可
- 伝統的建造物許可

嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区 9.6㍉

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目			現在の状況
歴史的風致形成建造物修理・修景事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	地域の歴史的風致を形成しており、歴史的風致の維持及び向上のため、その保全を図る必要が認められる建造物を歴史的風致形成建造物として指定する。また、歴史的風致形成建造物に指定した建造物の外観の保全に係る修理・修景に対して支援する。市所有の歴史的風致形成建造物は保存・公開のための修理を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致形成建造物	令和7年度:指定件数 0件(R元年～R7年指定件数 27件 うち市所有 20件、民間所有 7件) 令和7年度:補助金交付件数 0件(令和6年度:補助金交付件数 1件) 令和7年度:修理工事 3件(令和6年度:修理工事 3件)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和8年度から開始予定の「地域の観光資源充実のための環境整備推進事業」への乗り換えを検討する。		

状況を示す写真や資料等

横山郷土館



修理前



修理後



旧関根邸



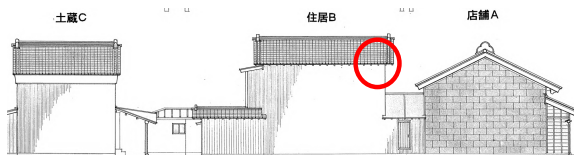
修理前



修理後



旧金澤呉服店



北立面姿図 1/100



西面

西面

西面



修理前



修理後

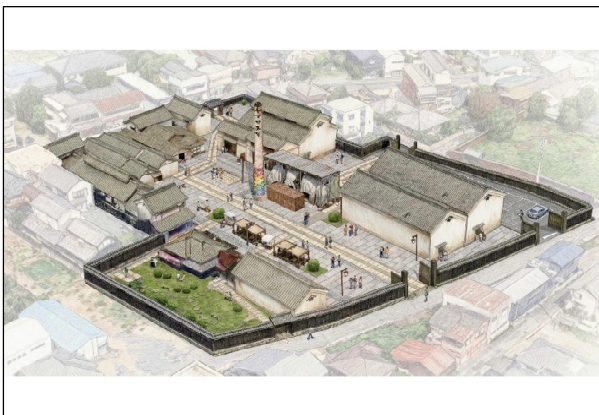
評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
嘉右衛門町伝建地区拠点施設整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成30年度～令和10年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金・都市構造再編集中支援事業		
計画に記載している内容	味噌工場跡地の敷地内に数多く残る伝統的建造物の保存に努めるとともに、周辺の歴史的建造物と一体となった町並みの整備や人と文化の交流を目的とした活用を目指し、観光・まちづくり・防災の拠点施設として整備する。(伝統的建造物の修理・景観阻害建築物の撤去解体・煙突や窯の整備・中庭の整備等)		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は、敷地内に残る伝統的建造物3棟(建-嘉68、嘉66、嘉67)の修理及び広場整備に係る検討を行った。令和7年度は、味噌工場跡地の広場基本計画の入札を実施し、広場基本計画業務完了。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後控えている建物修理と広場整備で、どのように進めると無駄がないか精査する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

拠点施設広場基本計画
【拠点施設広場現状】



【現状の上空写真】



【令和7年度事業成果物を基に検討中】

舗装材比較表	心臓部舗装	インターロッキング舗装	砂利舗装	アスファルト舗装
概要写真				
利点・短所、工法等	舗装の劣化が速く、歩行者の安全確保が難しい。歩行者の安全確保が難しい。	心臓部舗装は、歩行者の安全確保が難しい。歩行者の安全確保が難しい。	歩行者の安全確保が難しい。歩行者の安全確保が難しい。	歩行者の安全確保が難しい。歩行者の安全確保が難しい。
費用	心臓部舗装は、歩行者の安全確保が難しい。歩行者の安全確保が難しい。	心臓部舗装は、歩行者の安全確保が難しい。歩行者の安全確保が難しい。	心臓部舗装は、歩行者の安全確保が難しい。歩行者の安全確保が難しい。	心臓部舗装は、歩行者の安全確保が難しい。歩行者の安全確保が難しい。
工期	心臓部舗装は、歩行者の安全確保が難しい。歩行者の安全確保が難しい。	心臓部舗装は、歩行者の安全確保が難しい。歩行者の安全確保が難しい。	心臓部舗装は、歩行者の安全確保が難しい。歩行者の安全確保が難しい。	心臓部舗装は、歩行者の安全確保が難しい。歩行者の安全確保が難しい。
維持管理	心臓部舗装は、歩行者の安全確保が難しい。歩行者の安全確保が難しい。	心臓部舗装は、歩行者の安全確保が難しい。歩行者の安全確保が難しい。	心臓部舗装は、歩行者の安全確保が難しい。歩行者の安全確保が難しい。	心臓部舗装は、歩行者の安全確保が難しい。歩行者の安全確保が難しい。
その他	心臓部舗装は、歩行者の安全確保が難しい。歩行者の安全確保が難しい。	心臓部舗装は、歩行者の安全確保が難しい。歩行者の安全確保が難しい。	心臓部舗装は、歩行者の安全確保が難しい。歩行者の安全確保が難しい。	心臓部舗装は、歩行者の安全確保が難しい。歩行者の安全確保が難しい。
舗装単価(円/m ²)	心臓部舗装: 1,500	心臓部舗装: 1,500	心臓部舗装: 1,500	心臓部舗装: 1,500
工事費	9,500	7,300	3,000	5,000
工事費	2,500	1,000	1,000	2,000
工事費	12,500	8,300	4,000	5,000
合計	5,963,750	3,858,000	1,965,700	2,381,500

【敷地内舗装検討】

評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況

伝統的建造物公開活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------	---

事業期間	令和元年度～令和10年度
------	--------------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	所有者が嘉右衛門町伝建地区の伝統的建造物を、飲食店や店舗などとして活用・公開し、多くの方に利用・見学いただくことにより、本地区の歴史や伝統的建造物の価値などの理解を深めるための支援を行う。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

現在、修理後の伝統的建造物2棟について、新たに出店する事業者が準備している状況であり、時期に公開・活用される物件が2棟増える予定である。また、1月に修理を終えた伝統的建造物に新たに出店し公開・活用開始した物件が1棟増えた。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
--	--------------------------

状況を示す写真や資料等

1月に店舗として公開活用された伝統的建造物(齊藤家) 外観修理を終え出店準備中の伝統的建造物(杉戸家)



出店準備中の修理を終えた伝統的建造物(岡田家)



評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
嘉右衛門町伝建地区修理等事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～令和10年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金		
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝建地区保存計画で特定されている伝統的建造物の修理及び伝統的建造物以外の建築物等の修景を実施する所有者に対し、修理・修景に係る経費の補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝統的建造物の修理・修景工事に対し補助金交付を行った。 令和7年度:修理補助金交付 6件(令和6年度:補助金交付 5件) 修景補助金交付 0件(令和6年度:補助金交付 1件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

【岡田家 土蔵(建-嘉20)】 継続事業



修理前



R8年度完成予定

【杉戸家 蔵(建-嘉75)】 単年度事業



修理前



完成

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
伝統的技術継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的町並みの保全・活用に必要な歴史的建造物の伝統的技術の継承事業を促進する団体等の支援を行う。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

専門家及び市職員と勉強会(蔵まちPP未来志向フォーラム)を5回(予定)開催した。
 第12回では、調査と修理を通じての気づき・発見・提言、情報交換を実施した。
 第13回では、住宅メーカーを招待し、修理の方法等の情報共有を図った。
 第14回では、今後の蔵Pの開催・進め方を検討した。
 第15回では、栃木市の町並み保存の取組みと今後の課題について情報共有を図った。
 第16回では、歴史的景観の保存から、体験型観光への新たな流れについて意見交換を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

ONPO法人とちぎ蔵の街職人塾と市職員による勉強会(蔵まちPP未来志向フォーラム)の開催

回数	開催日	主なテーマ
第12回	令和7年5月15日	調査と修理を通じての気づき・発見・提言、情報交換
第13回	令和7年9月17日	住宅メーカーと情報交換会
第14回	令和7年12月3日	今後の蔵Pの開催・進め方
第15回	令和8年1月9日	栃木市の町並み保存のあゆみと課題
第16回	令和8年3月13日	「蔵の街」栃木の観光振興



第12回 調査と修理を通じての気づき・発見・提言、情報交換
令和7年5月15日



第13回 住宅メーカーとの情報交換会
令和7年9月17日



第14回 今後の蔵Pの開催・進め方
令和7年12月3日



第15回 栃木市の町並み保存のあゆみと課題
令和8年1月9日

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
嘉右衛門町伝建地区防災施設等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和4年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝建地区防災計画に基づき、保存地区内に無線連動式住宅用火災警報器を設置し、火災を早期発見するシステムを導入する所有者に対し、設置に係る経費の助成を行う。また、火災に対し初期消火を行える環境を整えるため、保存地区内に住民でも使用可能な消火設備等を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
例年、文化財防火デーに合わせて開催する「伝建地区総合防災訓練」において、地域住民とともに、可搬ポンプ及び水消火器による初期消火訓練や通報訓練等を実施した。 地区内における住宅用火災警報器導入の必要性等に関する普及啓発活動として、「伝建かわら版」に特集記事を掲載し、地区内の全戸に配布した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○伝建地区総合防災訓練
令和8年2月1日開催



消火器による消火訓練



可搬ポンプによる放水訓練

伝建かわら版 No.26



広場整備ワークショップを開催しました

栃木市では、味噌工場跡地を伝建地区拠点施設として活用するための整備を進めています。これまでに第1期工事として、ガイダンスセンター（観光案内）、KAEMON BASE（店舗）、交流館（多目的スペース）を整備しました。
今後は、上増敷地区内に残る建物を修理する第2期工事を予定しておりますが、その前に、先行してイベントなどに利用できる広場を整備します。
広場整備にあたり、地元の方々や関係団体、そして東京都市大学の堀場弘先生（拠点施設整備専門委員会）の協力のもと学生連によるワークショップをそれぞれ実施しました。ワークショップでは活発な意見交換が行われ、多様な提案が寄せられました。今後は、いただいたご意見を踏まえ、広場整備を進めてまいります。



伝建地区総合防災訓練を開催しました

法隆寺金堂が焼損した日に由来する文化財防火デー（1月26日）にあわせ、令和8年2月1日（日）、伝建地区拠点施設（広場整備予定地）で総合防災訓練を実施しました。当日は、泉町・嘉右衛門町・大町の各自治会の方々や栃木市消防団員など約50人が参加しました。火災の発生を想定し、通報訓練や初期消火訓練に取り組みました。初期消火訓練では、例年実施している可搬ポンプによる放水訓練に加え、各自治会の代表者が実際に消火器を使って消火を行う訓練も実施しました。



火災予防のお願い

嘉右衛門町伝建地区には、江戸時代末期（約200年前）から昭和20（1945）年頃までにかけて建てられた建物が100棟以上残されています。また、地区内の建物の多くは木造です。木造の建物は、いったん火が出ると大きな火事に広がりがやすいという特徴があります。木造の建物は、いったん火が出ると大きな火事に広がりがやすいという特徴があります。木造の建物は、いったん火が出ると大きな火事に広がりがやすいという特徴があります。木造の建物は、いったん火が出ると大きな火事に広がりがやすいという特徴があります。

- 【火事を防ぐ思ひ、応がりを防ぐために】
- 火事を見つけたら、まずは119番に電話しましょう。
- 住宅用火災警報器を設置しましょう。
- 消火器や消火スプレーを用意し、設置した場所を覚えておきましょう。



【発行・問合せ】 栃木市 地域振興部 蔵の街課 伝建整備
TEL: 0282-21-2571 FAX: 0282-21-2685
〒328-8686 栃木市方町9-25 E-mail: denken@city.tochigi.lg.jp

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
村檜神社修理整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重要文化財村檜神社本殿等の建造物の修理や修景、また村檜神社境内の参道や記念物(動物・植物・地質鉱物)社叢の修景や整備を行うとともに、防火、防犯、防災設備や解説板等の設置を行うことにより周辺環境の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
国重要文化財(建造物)となっている本殿について、国士館大学理工学部との協力により、耐震予備診断による耐震性能評価について所有者と協議を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	調査結果を踏まえ、今後の耐震対応方針について協議、検討を進める。		

状況を示す写真や資料等



重要文化財村檜神社本殿

評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度															
項目		現在の状況																
景観重要建造物保全事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手																
事業期間	平成28年度～令和10年度																	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)																	
計画に記載している内容	景観的に価値のある建造物を景観重要建造物として指定する。また、景観重要建造物に指定した建造物の保全に係る経費の一部について補助する。																	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																		
「栃木市景観重要建造物等保全補助金交付要綱」を活用し、景観重要建造物の保全に係る経費の一部について補助を行うことで、建造物の維持管理が適正に行われることにより、良好な景観が保全され、商家町栃木にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。 令和7年度:補助金交付 0件 (令和6年度:補助金交付 0件)																		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		今後、景観重要建造物の新たな指定に向け、調査検討を進める。																
状況を示す写真や資料等																		
景観重要建造物保全事業実施状況 ○塚田歴史伝説館																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業年度</th> <th>補助金名</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>白壁土蔵補助金</td> <td>500万円</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>旧別邸補助金</td> <td>500万円</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>旧荷蔵補助金</td> <td>500万円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>旧文庫蔵補助金</td> <td>500万円</td> </tr> </tbody> </table>				事業年度	補助金名	補助額	平成28年度	白壁土蔵補助金	500万円	平成29年度	旧別邸補助金	500万円	令和元年度	旧荷蔵補助金	500万円	令和5年度	旧文庫蔵補助金	500万円
事業年度	補助金名	補助額																
平成28年度	白壁土蔵補助金	500万円																
平成29年度	旧別邸補助金	500万円																
令和元年度	旧荷蔵補助金	500万円																
令和5年度	旧文庫蔵補助金	500万円																

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
歴史的町並みに関する修景助成事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成2年度～令和10年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	歴史的町並み景観形成地区において、景観形成補助金制度を拡充し、歴史的建造物の外観の修景整備を行うとともに、町並みの連続性を阻害している建物等の外観について、歴史的町並みに調和するよう修景を促進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「栃木市歴史的町並み景観形成補助金交付要綱」を活用し、歴史的建造物等の修景に対して、費用の一部を補助することで、栃木らしい歴史的町並みの景観形成に寄与する。 令和7年度:補助金交付 2件(令和6年度:補助金交付 0件)			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後、町並みの連続性を阻害している建物等の外観について、修景整備が進むよう景観形成補助制度の拡充を検討する。		
状況を示す写真や資料等			
○「栃木市歴史的町並み景観形成補助金交付要綱」を活用した修景整備 令和7年度:補助金交付決定 2件 歴史的建造物第30号 塚田邸(雅秀)			
修理前		修理後	
修理前		修理後	
歴史的建造物第30号 塚田邸(雅秀)		歴史的建造物第50号 下野新聞社 倉庫	

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	現在の状況	
景観形成重点地区指定に関する調査事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的町並み景観形成地区において、歴史的町並みの更なる充実を図り、景観まちづくりを推進するため、本地区を基本に栃本市景観条例に基づく景観形成重点地区の指定に向けた調査(景観の特徴等)を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成2年に指定した栃本市歴史的町並み景観形成地区の区域を、栃本市景観計画に基づく栃木地域歴史的町並み景観形成重点地区として指定するため、令和元年度に地元説明会等を行うなど地元調整を進めてきたところであるが、令和元年東日本台風での被災や新型コロナウイルス感染症対策により、重点地区指定に向けた地元調整が中断していた。

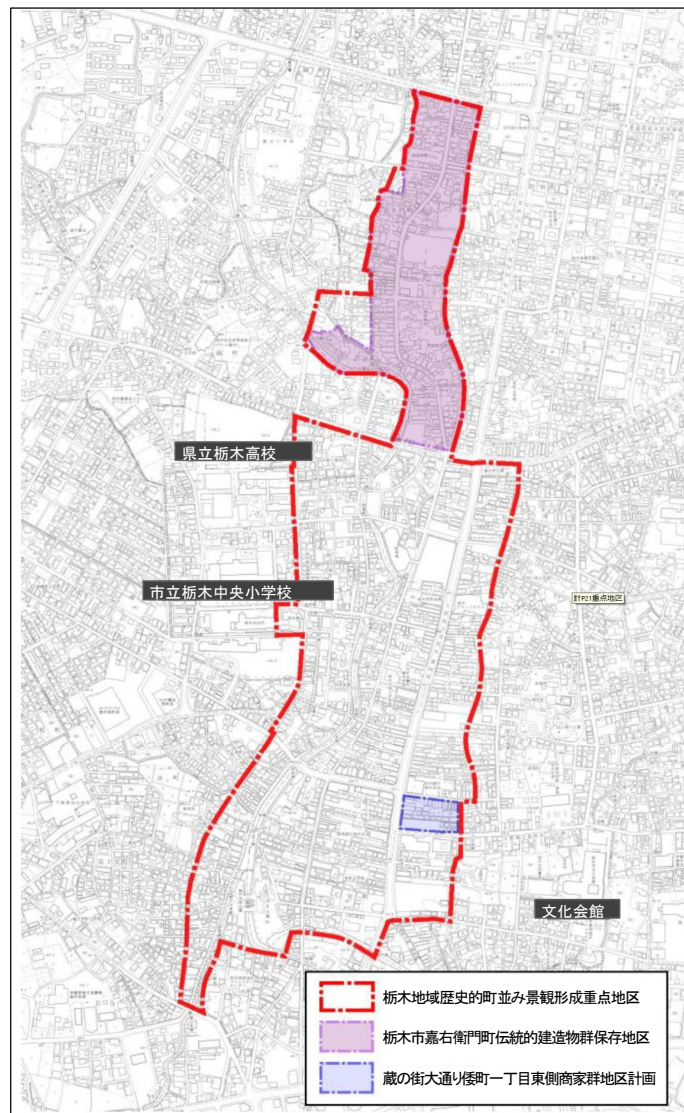
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

地元調整を再開するなど、重点地区指定に向けた景観形成の方針の検討を進める。

状況を示す写真や資料等



栃木地域歴史的町並み景観形成重点地区 区域(案)

評価軸③-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
無電柱化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域において、歴史的な町並みに調和した空間の整備を図るため、無電柱化を実施し、景観形成の充実にを図る。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

車の往来が絶え間なく、歩道のない区間の中で毎年交通事故も起きており、無電柱化に伴う変圧器の設置が困難なため、他の手法の検討を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	電線管理者と協議したところ、一般的な地中化の手法では整備が困難な路線であることが分かり、地中化以外の手法を含め、関係部署と協議し実現に向けた検討を進める。

状況を示す写真や資料等

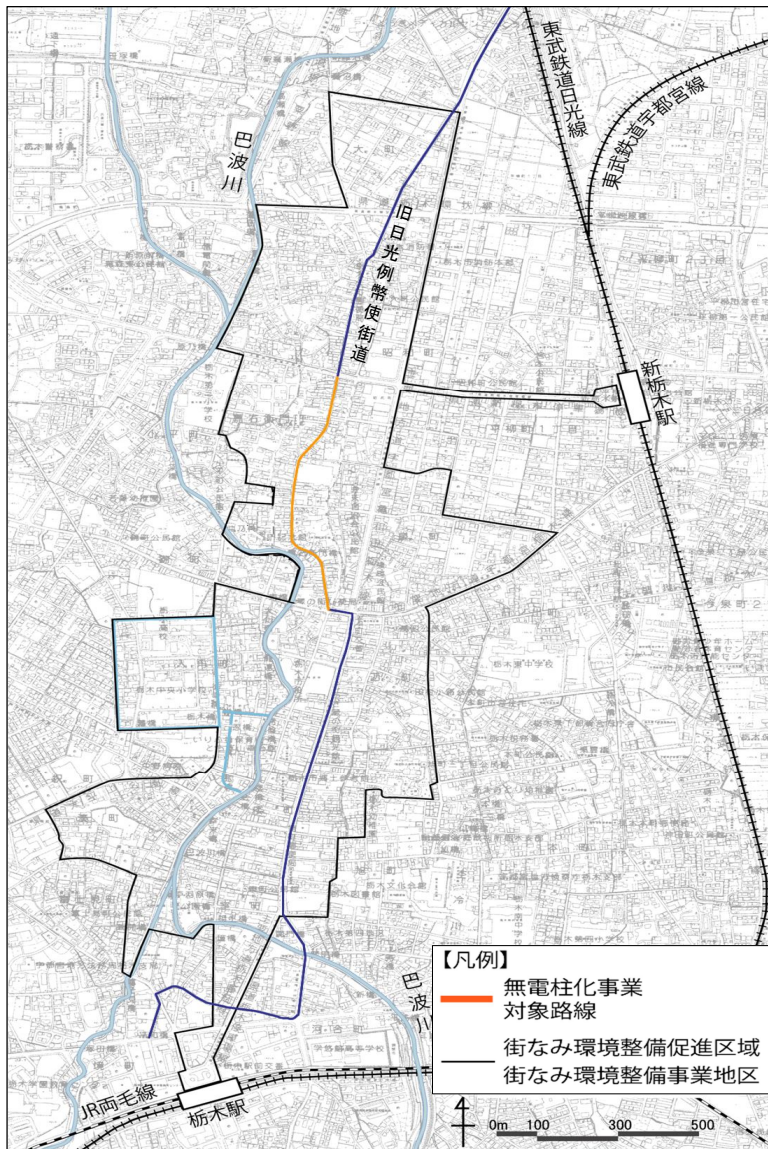


図 無電柱化事業対象路線

評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	現在の状況	
祭礼・民俗芸能等の記録保存事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	市内の無形の民俗文化財に指定されている祭礼や民俗芸能等について、調査し記録を作成するとともに、作成した記録を保存する。	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新型コロナウイルス感染症対策による団体の活動休止・縮小等の影響もあり、全体の予備調査等は進んでいないが、令和5年度から徐々に復活してきた団体の活動状況について確認調査を進めており、引き続き調査を続ける。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナ禍を経て活動が復活したものの、後継者不足の課題は依然として続くため記録保存等の対策を進める必要がある。

状況を示す写真や資料等



岩舟地域の行事のポスター

評価軸③-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
指定無形の民俗文化財保存事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市指定無形の民俗文化財の保存や伝承活動の促進のために、保存団体等に対し、伝承活動に要する経費や保存に必要な専門用具、楽器、衣装等の修理又は新調に要する経費の助成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
栃木市指定無形民俗文化財保存事業費補助金交付要綱に基づき、市指定無形民俗文化財保持団体に対し、伝承活動に要する経費の一部を補助した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○栃木市指定無形民俗文化財伝承補助金

交付先

- ・下野国庁跡・地区文化財整備委員会
- ・宮野辺神社
- ・新神田囃子保存会
- ・升塚獅子舞保存会
- ・鷲宮太々神楽保存会



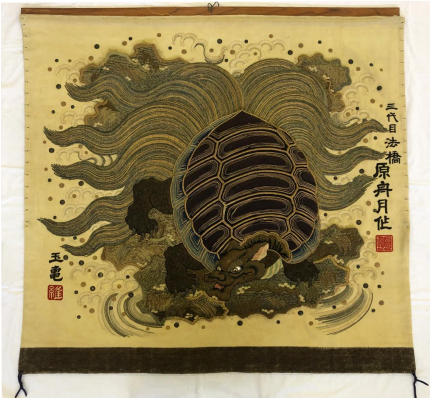
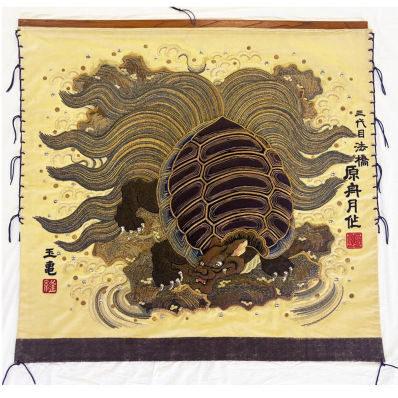

大神神社御鉾祭
(下野国庁跡・地区文化財整備委員会)



鷲宮太々神楽保存会

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
山車等の保存・修理補助事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	栃木の山車祭りの山車等の保存や伝承活動の促進のために、保存会等に対し、保存会の運営に要する経費や山車の修理に係る経費の助成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
栃木市文化活動推進補助金交付要綱に基づき、文化財山車保存会の運営に要する経費の一部を補助した。(1団体) また、県指定の山車1台について幕1枚の修理に関する指導及び経費(県)の助成をし、修理を完了した。さらに、市指定の山車1台について令和8年から修理を実施するため協議を行い、修理内容の指導と経費の助成を進めている。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	一回の修理費が大きいため、今後の財源確保の手段について検討する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
<p>○栃木市文化財山車保存会補助金 交付先 ・文化財山車保存会</p> <p>○栃木県指定有形文化財山車修理指導 万町三丁目の山車 修理完了</p> <p>○栃木市指定有形文化財山車修理指導 泉町の山車 修理内容の指導と経費の助成を進めている。</p>			
			
修理前(万町三丁目)		修理完了(万町三丁目)	
			
修理予定(泉町)			

評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
渡良瀬遊水地環境保全事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	渡良瀬遊水地の現状を把握するための生態系調査や絶滅危惧植物生息地であるハート池(環境学習池)の管理、希少植物及び湿地環境の保全を目的とした外来植物除去活動を行う。また、ヨシ原保全のためクリーン作戦やヨシ焼きを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年4月13日に渡良瀬遊水地クリーン作戦を実施(参加者350人、一般ゴミ等6.4t集積)。 4月22日に絶滅危惧種ノジトラノオの生息地の保全作業を実施(参加者12人)。 5月17日に絶滅危惧種生息地で外来植物の除去作業及び植物観察会を実施予定であったが、雨により中止。 9月6日に絶滅危惧種生息地で外来植物の除去作業及び植物観察会を実施予定であったが、前日の雨により中止。 11月15日に湿地再生池(第2調節池)で外来植物の除去作業を実施(参加者150人、セイタカアワダチソウ410kg除草)。 令和8年2月28日にヨシ焼き前クリーン作戦を実施(参加者34人、一般ゴミ210kg集積)。 3月14日に渡良瀬遊水地全域でヨシ焼きを実施(見学者2,400人)。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



渡良瀬遊水地クリーン作戦の様子
(令和7年4月13日)



ノジトラノオ保全作業の様子
(令和7年4月22日)



外来植物除去活動の様子
(令和7年11月15日)



ヨシ焼き前クリーン作戦の様子
(令和8年2月28日)



ヨシ焼きの様子
(令和8年3月14日)

評価軸③-16
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
農業体験(グリーンツーリズム)事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	太平山の南山麓に広がるぶどう棚や観光ぶどう園等の農村風景のPRを図り、ぶどうの収穫等の農業体験を行う。 また、ぶどう栽培や農村生活に興味がある、ぶどう生産を学びたい人と農村とを結ぶ支援を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
ジャガイモ・玉ねぎ収穫体験(6月:参加者51名)、生食用ぶどう・ワイン用ぶどう収穫体験(9月:参加者55名)、オーナー制度によるサツマイモ掘り体験(10月:参加者42名)、11月には大根・キウイフルーツ収穫体験(参加者68名)を実施した。 また、市内短期大学の講座「ぶどう学」における、ぶどうの歴史、生産についての生産者の講義や収穫体験の授業へ協力し、ぶどう生産やぶどう棚、観光ぶどう園等の農村への興味、関心を持つ機会の創出を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	農業体験については受け入れできる農家や組織の確保が課題である。また、新規就農希望者の土地や施設等の経営基盤整備にも課題があるため、今後の取組みについて地元農家の意見を伺いながら引き続き支援方法を検討していく。		
状況を示す写真や資料等			



ジャガイモ収穫体験の様子



ぶどう収穫体験の様子

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
6次産業化推進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	ぶどうを主力とする果樹生産の振興を図るとともに、消費者、来訪者の趣向を捉え、ワインやジュース、ジャム等の加工や販売・新商品開発等の支援を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
現在、地域で生産しているぶどうを始めとする果実等を使用し、ジュース、ジャム、ワイン等の加工品を各団体が中心に製造・販売を行っている。新型コロナウイルス感染症対策により積極的なPR活動はできなかったが、今年度はイベントへの参加等を通じてPR活動を行った。販路拡大につながることを期待するとともに、県等の関係者と情報を共有しながら、他産業との連携や情報発信等の支援にも努めていく。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		新商品開発を行う事業者の掘り起こし及び6次産業に関する情報発信の方法を検討し、今後も、県が設置する栃木6次産業化サポートセンター等の関係組織と密な連携が必要である。	

状況を示す写真や資料等

○現在生産されている加工品の例



ワイン



手作りジャム・ぶどうジュース



みつわキッチンカー通りイベント



エイジックさくら球場女子野球大会でのぶどうPR

○イベント参加実績

3月	桜まつり
8月	みつわキッチンカー通りイベント
9月	かかしとマルシェイベント
	エイジックさくら球場女子野球大会
11月	地域づくり財団全国研修交流会栃木大会
	とちぎアグリフェスタ

評価軸③-18
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

情報発信事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------	---

事業期間	令和元年度～令和10年度
------	--------------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容
 嘉右衛門町伝建地区の歴史的な価値や、伝建地区や伝統的建造物等を楽しめる魅力や情報を発信するなど、様々な情報発信ツールを活用したPRを展開する。栃木市の認知度を高め、魅力を知ってもらうため、メディアや交通事業者、旅行者等へ、時期にあった情報発信を行い、栃木市への誘客に努める。また、栃木市を訪れる外国人観光客の誘客推進を図るため、商談会や県主催の海外プロモーションイベントに参加し、積極的な誘客活動を展開する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

嘉右衛門町伝建地区拠点施設ガイダンスセンター、栃木市観光交流館「蔵なび」、栃木市観光協会等において、パンフレット配布等により嘉右衛門町伝建地区の紹介や観光案内等を行った。
 NPO法人嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会において、ホームページ「kaemos」、Instagram、X等のツールを活用した情報発信を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

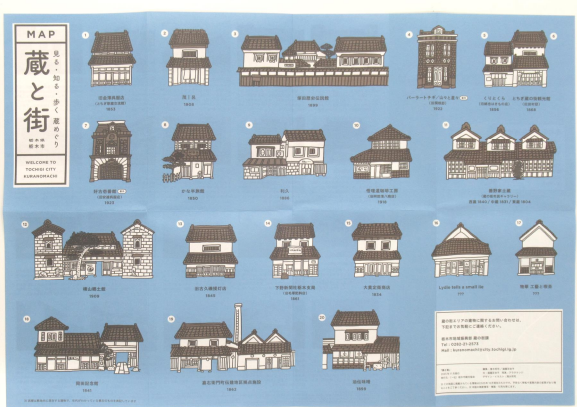
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等

○栃木の蔵についての冊子・パンフレット



▲「栃木と蔵」



▲「蔵と街」



評価軸③-19
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

文化財データベース整備・発信事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------------	---

事業期間	令和2年度～令和10年度
------	--------------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容
国県市指定の文化財の修理履歴や現状を総合的に把握するため、資料情報をデジタル化した管理データベースを構築する。データベースのうち、各々の文化財の歴史的価値や意義について、インターネット上で公開し、活用を行う。また、公開端末は主要な資料館に設置し、市全域の歴史や文化、歴史的風致のガイダンスを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

栃木市立美術館・文学館収蔵品管理システムのデータベース登録作業を進めてきたが、組織の変更に伴い新たに導入内容を検討する必要がある。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	栃木県文化資源デジタル化事業が開始され、順次追加を進めた。国県市指定文化財等の公開活用の方法等について再検討する。
--	---

状況を示す写真や資料等

〇とちぎデジタルミュージアム SHUGYOKU(珠玉)ホームページより



下野七廻り鏡塚古墳出土品

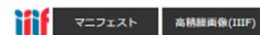


下野七廻り鏡塚古墳出土品

21件の関連画像があります。



項目	内容
文化財区分	考古資料 / 考古資料
文化財区分	国指定有形文化財(考古・歴史資料)
文化財名称	下野七廻り鏡塚古墳出土品
文化財名称よみ	しもつけなまわりかがみづかこふんしゅつどひん
指定年月日	1986年06月06日
所在地	栃木市大平町西山田
市町等	栃木市
所有者/管理者	栃木市
公開状況	公開(有料) / おおひら歴史民俗資料館内に展示(月曜休館)
アクセス方法	JR両毛線大平下駅から約2km、車で約3分・東武日光線新大平下駅から約3.5km、車で約6分
概要	昭和44年4月13日、宅地造成工事によって発見された下野七廻り鏡塚古墳は、旧大平町及び県教育委員会等の関係機関によって発掘調査が数回にわたって実施され、その結果、古墳基底部と推定された箇所より我が国最大といわれる舟形木棺や組合せ木棺が発見された。古墳は高さが5m前後、直径が約3.0mの円墳で、巾5～7mの円溝がめぐっていた。木棺は5m以上の深さにあたる位置から湧水のある青色粘土層に掘りこまれた状態で発見された。木棺は初めて全貌が明らかになった例として貴重である。組合せ木棺はヒノキ材であった。副葬品についても、刀身・鞘・把木・三輪玉から成る大刀、黒漆塗弓、柄・石突の残存する矛、篋(の)の残る鉄造など湧水の影響を受けて、木製の部位や綴の皮革部、毛織物残欠など、これまでの古墳出土品ではその細部を把握できなかった遺品も良く遺存している。
画像二次利用条件	著作権あり



評価軸③-20 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
	項目	現在の状況

文化財マップ作成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------	---

事業期間	令和2年度～令和8年度
------	-------------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	国県市指定の文化財マップを作成し、主要施設に配付することで、市全域の歴史や文化、歴史的風致の情報発信を行う。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

個別の文化財(西方城跡)の案内パンフレットを作成した(1件)。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和9年度に全域対象の文化財マップ作成を実施するため、その準備を進める。
--	--------------------------------------

状況を示す写真や資料等

○西方城跡案内マップ作成 西方城跡案内マップの改訂版を作成した。

【山頂部からの出土遺物】
 山頂部から出土した遺物は、土器、土師器、瓦、石器等であり、16世紀後半から17世紀前半のものと考えられる。また、山頂部から出土した遺物は、山麓部や山腰部から出土した遺物と比べて、種類が豊富で、数量も多い。これは、山頂部が城跡の中心であったことを示している。また、山頂部から出土した遺物は、山麓部や山腰部から出土した遺物と比べて、種類が豊富で、数量も多い。これは、山頂部が城跡の中心であったことを示している。

【山麓部からの出土遺物】
 山麓部から出土した遺物は、土器、土師器、瓦、石器等であり、16世紀後半から17世紀前半のものと考えられる。また、山麓部から出土した遺物は、山頂部や山腰部から出土した遺物と比べて、種類が豊富で、数量も多い。これは、山麓部が城跡の中心であったことを示している。また、山麓部から出土した遺物は、山頂部や山腰部から出土した遺物と比べて、種類が豊富で、数量も多い。これは、山麓部が城跡の中心であったことを示している。

【山腰部からの出土遺物】
 山腰部から出土した遺物は、土器、土師器、瓦、石器等であり、16世紀後半から17世紀前半のものと考えられる。また、山腰部から出土した遺物は、山頂部や山麓部から出土した遺物と比べて、種類が豊富で、数量も多い。これは、山腰部が城跡の中心であったことを示している。また、山腰部から出土した遺物は、山頂部や山麓部から出土した遺物と比べて、種類が豊富で、数量も多い。これは、山腰部が城跡の中心であったことを示している。

評価軸③-21
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
案内板等整備事業			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝建地区の説明や、伝建地区及びその周辺地域の防災施設等の施設に関する適切で分かりやすい情報の提供を行う地図、また、災害時に情報伝達・共有をするための掲示板(でんけん伝言板)を設置する。また、伝建地区の南隅と北隅に位置サインを設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
嘉右衛門町伝建地区拠点施設前に、案内板(でんけん伝言板)を設置した。日頃より、地元の情報やイベント情報の発信に活用されている。 伝建地区の南隅と北隅の位置サインについては、既存の位置サインを活用している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○案内板(でんけん伝言板)



○伝建地区の南隅と北隅の位置サイン



位置サイン(南隅)



位置サイン(北隅)

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目			現在の状況
歴史・文化に関する解説ボランティア人材育成事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市民や来訪者向けに、地域に残る歴史的資源や歴史・文化について語ることができる解説ボランティアを育成するため、講習会や現地視察等の歴史文化資産に関する解説ボランティア養成講座を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
観光ボランティア協会が、協会会員を対象とした班別研修会・全体研修会を開催したほか、栃木県郷土ボランティアの集いを開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		他部局、県、大学、民間事業者、近隣自治体の観光ボランティア等との連携について体制、システムづくりを検討する。	
状況を示す写真や資料等			
令和7年度前期栃木市観光ボランティア協会先進地視察研修 令和7年5月20日 8時50分～16時00分 (太平山、渡良瀬遊水地)			
第30回栃木県郷土ボランティアの集い 令和7年11月25日 10時00分～15時30分 (栃木文化会館、太平山、渡良瀬遊水地)			
令和7年度後期栃木市観光ボランティア協会先進地視察研修 令和7年12月19日 8時30分～16時30分(土浦市立博物館、亀城公園、市街地蔵めぐり)			
			
令和7年度前期栃木市観光ボランティア協会先進地視察研修		第30回栃木県郷土ボランティアの集い	
			
		第30回栃木県郷土ボランティアの集い	

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

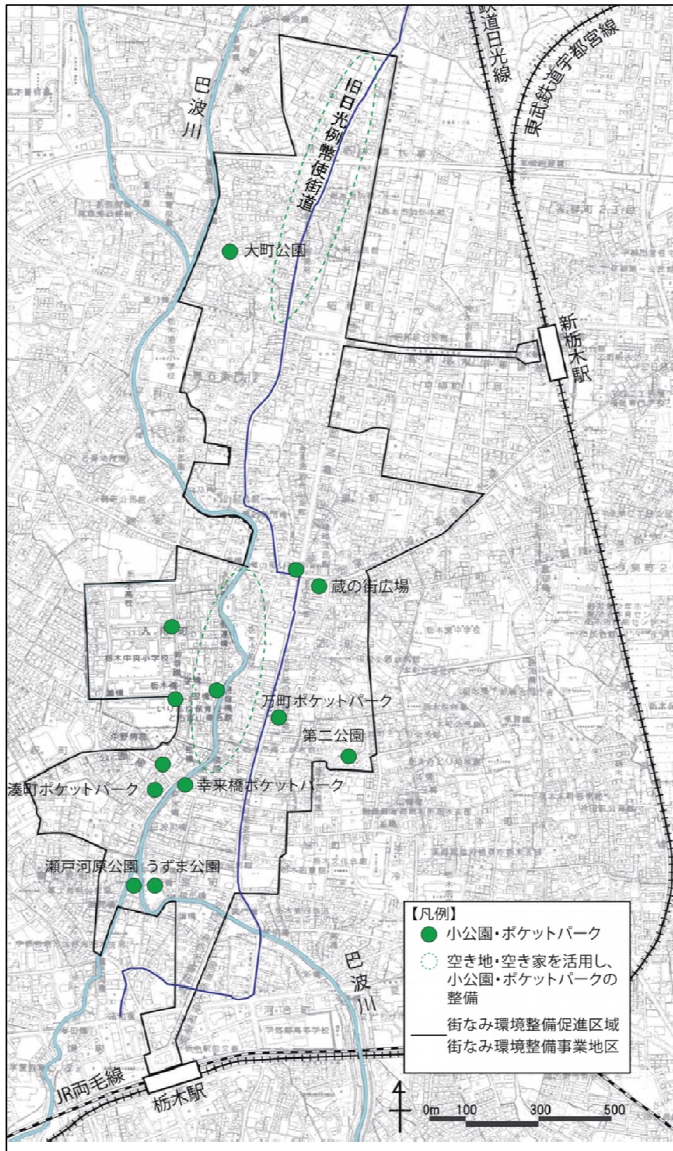
		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
嘉右衛門町伝建地区及び周辺整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和4年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的な町並みに調和した空間の整備を図るため、歩道の整備や道路の美装化、街路灯の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年に伝建地区の歴史的風致を損なうことなく、かつ路面が際立つことのないよう、黒舗装を行い、この頃ようやく調和してきている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		無電柱化事業と合わせて検討する。 なお、無電柱化事業においては、当該地区は既に歴史的な町並みが形成されている地域であり、同様な条件での事例が少なく整備手法の慎重な検討を引き続き行っていく。	
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-24
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
ポケットパーク整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的な町並み景観の阻害要素となっている空き家や空き地を活用し、地域住民・来訪者が憩えるポケットパーク(歴史的風致に関する説明板・防災倉庫・防災水槽・トイレ)を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ポケットパーク整備については、候補地の場所や広さ等の様々な状況を加味しながら、その場所に相応しい整備を進める。

状況を示す写真や資料等



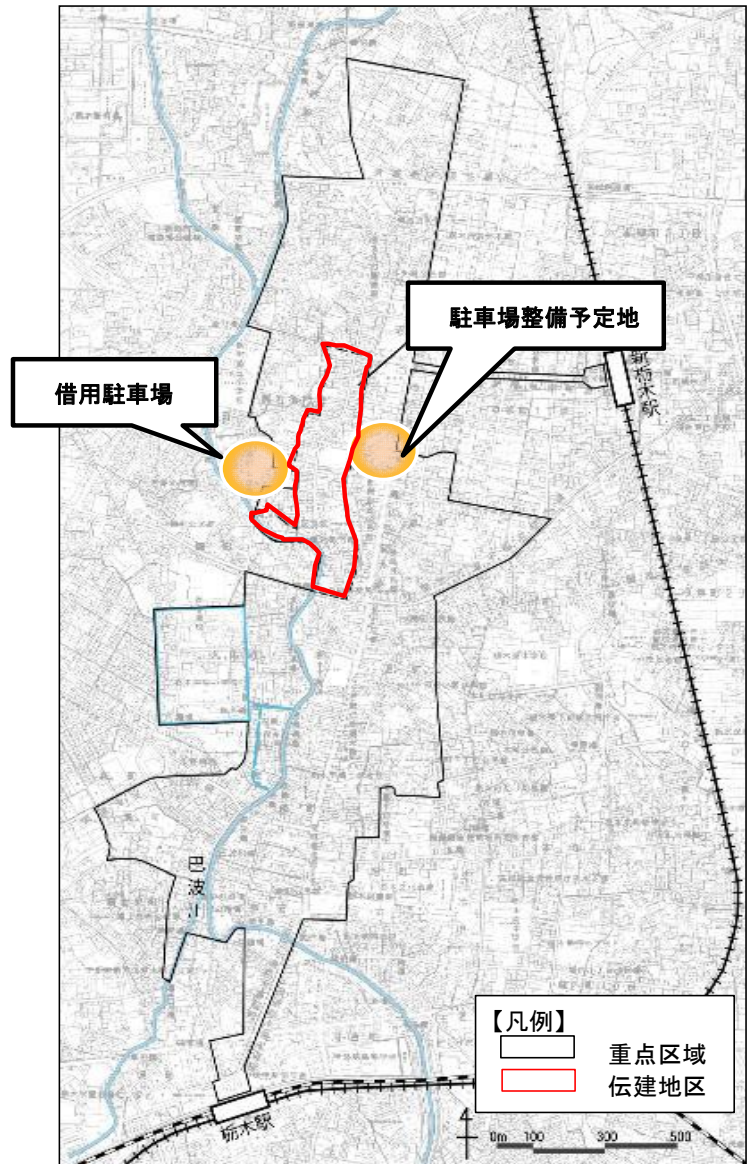
既存ポケットパークの位置と整備予定区域

評価軸③-25
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
駐車場整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域(旧日光例幣使街道及び巴波川周辺区域)における嘉右衛門町伝建地区等へのアクセス環境を向上させるため、駐車場を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・嘉右衛門町伝建地区味噌工場跡地保存活用計画において、拠点施設の隣接地での整備を位置付けている。 ・令和5年9月より、伝建地区に隣接した民間駐車場を借り受け、地区における来訪者用駐車場を確保した。 ・今後は、拠点施設整備事業の進捗に合わせて、新たな駐車場の整備を検討する。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

【借用駐車場】



評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
旧日光例幣使街道交通体系検討調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	有識者と地元住民を交えて現状の交通課題と風致を考察し、より良い交通体系を検討する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	無電柱化事業や嘉右衛門町伝建地区及び周辺整備事業と合わせ検討する。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
歴史文化資産ネットワーク形成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業・デジタル田園都市国家構想交付金

計画に記載している内容
 市内各所の歴史文化資産について、地域に根差した物語づくりを行いながら、新たなモデルコースを設定するとともに、来訪者が複数の歴史文化資産を周遊できるよう広域的な自転車道路網を活用するため、自転車シェアリングの導入・推進を行う。各々の歴史文化資産への来訪者に、そこだけに留まらずに周遊してもらうため、着地情報(交通手段、施設情報等)の共有や、歴史文化資産間のネットワークを強化する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

栃木市観光資源データベース「蔵ナビ！」に、モデルルートとして、「歴史ロマン 花めぐりコース」を作成するとともに、ふれあいバスやサイクリングマップ(サイクリングコース)等の二次交通情報を掲載し、歴史文化資産に触れ合いながら、各地域を周遊してもらうための情報発信を行った。また、令和5年7月からシェアサイクルの導入を実施した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



栃木市観光資源データベース「蔵ナビ！」



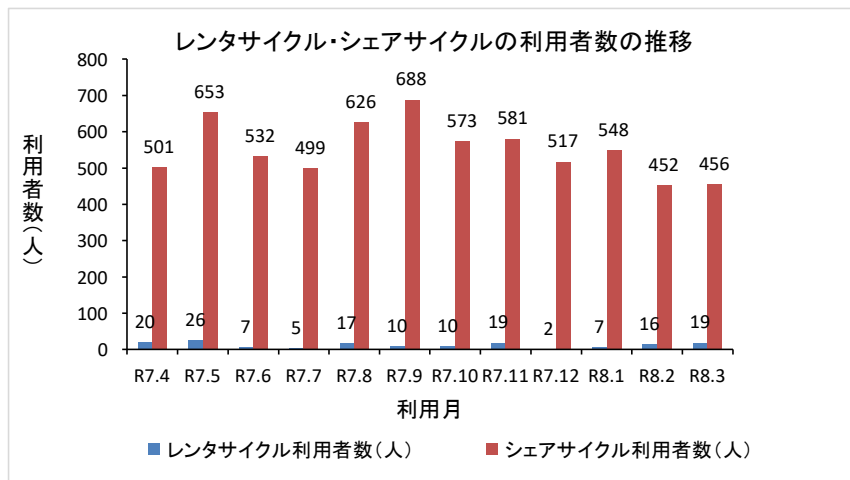
レンタサイクル



シェアサイクル



シェアサイクルのステーション設置場



評価軸③-28
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
公共サイン整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内の文化財や史跡等に誘導するサイン等について、案内機能の向上を図るために、表記方法や意匠の統一化、多言語化など、平成27年(2015)に策定した栃木市公共サインガイドラインに基づき整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
下野国庁跡の案内板を設置した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	必要に応じ、随時対応する。令和7年度は、下野国庁跡の案内板を設置した。		

状況を示す写真や資料等



下野国庁跡案内板 設置

評価軸③-29
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
歴史的観光資源高質化支援事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	歴史的観光資源高質化支援事業		
計画に記載している内容	外国人観光客が増加傾向にある歴史的町並み景観形成地区において、歴史的な町並みの景観を阻害している建築物の外観を修景することにより、歴史的建造物を含めた町並みの質を向上させ、外国人観光客の満足度向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝建地区内でコンクリートブロック塀→木塀工事を実施する。(繰越) 伝建地区内で破損したブロック塀→木塀工事を実施した。 伝建地区翁島の倒木及び危険樹木伐採を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	本支援事業を活用できる事業等を精査し、積極的な活用を検討する。		

状況を示す写真や資料等

○事業計画

楡井家 ブロック塀→木塀



修理前

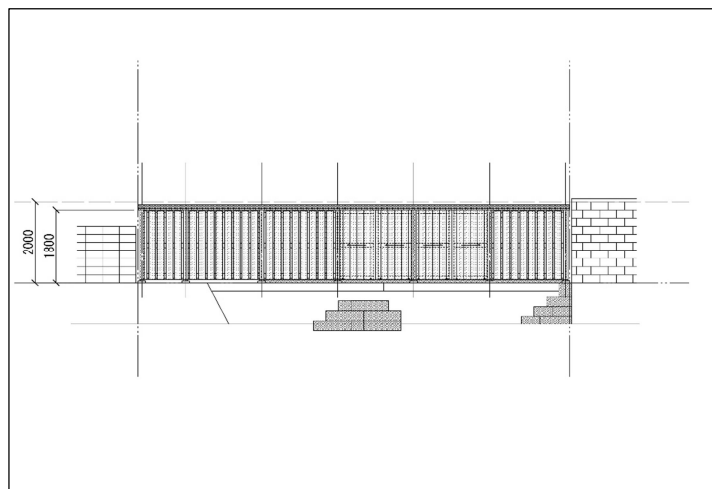


修理後

大貫邸 コンクリートブロック→木塀



修理前



修理後(予定図)

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財の調査、指定、保存管理について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	関係法令に基づく適切な保存管理を実施し、保存活用計画の策定や、関係機関と連携した調査・研究、市指定や国登録制度等の活用等により適切な保護を行う。 土木工事等の際の届出義務の徹底や関係機関と連携した保存・記録・調査を行う。 文化財の保存活用の視点から観光部局との連携強化体制の充実を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市文化財保護審議会委員に対し、必要に応じて文化財調査、修理指導を依頼。また、未指定文化財についての調査及び意見聴取等を行った。 埋蔵文化財調査を随時実施した。(確認調査8回、立会調査25回)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		指定の根拠となる、現存する証拠の収集において、事務局と審議会委員だけでは確認や閲覧が困難な場合があることから、引き続き研究機関との連携体制を整えていく必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
○埋蔵文化財調査			
			
替女木遺跡確認調		東永峰6号墳立会調査	

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
文化財の修理、周辺環境整備、防災に関する事業について			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	文化財の価値を損なうことなく修理するため関係機関と調整し、各種補助制度を活用しながら、適切な保存のための対策を講じる。 展示施設等の見直しを行い、将来的に資料を一元管理できる施設整備を目指す。 関係法令に基づき周辺環境と調和した良好な景観の保全に努める。 防災対策の検討とともに、復旧作業に資する資料や関係機関との体制の整備を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
指定有形文化財(建造物)の修理について、所有者負担軽減のため、市補助金を交付した(1件)。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	修理方針や工法について、所有者の理解を今後も得ていく必要がある。		

状況を示す写真や資料等

〇市指定有形文化財「大中寺山門」屋根鬼瓦修理工事

工事費内訳 総事業費3,465,000円、市補助金1,039,000円(30%)
 工事期間 令和7年7月28日～9月17日



修理前



修理後



修理前



修理後

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	現在の状況	
文化財に関する普及・啓発、防災訓練、団体支援について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財防火デーを活用した防災訓練等の取組みを促す。
 説明板等の設置やパンフレットなどの作成・配布、講座やイベントを開催し、普及・啓発を図る。
 総合的な調査研究を行うとともに、保存・活用する団体等の育成、団体間の連携強化を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・文化財防火デー(1月26日)にあわせて、文化財(建造物)の所有者または管理者への文化財防火デー実施要項及びポスターの配布や消防署による文化財(建造物)の防火点検、伝建地区周辺での消防訓練の実施などを行った。
- ・西方城跡の国指定を記念しイベント等を開催、栃木城跡と共に公民館講座で講演し、市内外へ周知を図った。
- ・とちぎ文化講座を開催し、本市の歴史文化等について普及・啓発を行った。
- ・小中学生向け石器づくり体験教室を開催し、体験を通して本市の歴史を学ぶ機会を設けた。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

※写真は、水消火器を使った、消火器の使用方の訓練の様子。

○伝建地区総合防災訓練
 日時: 令和8年2月1日



○とちぎ文化講座開催状況

講座名	日程	参加者数(人)
海なし県の貝塚! ~藤岡地域周辺の貝塚を中心に~	9月30日	51
七廻り鏡塚古墳から見る栃木の古墳時代	10月7日	46
下野国を支えた窯業生産~三義山麓窯跡群を中心に~	10月14日	47
都賀地域の中世城郭	10月21日	41
栃木地域の中近世~皆川氏と皆川城・栃木城~	10月28日	46
西方地域の中近世~西方城と城下町~	11月4日	42
合計		273

○石器づくり体験教室開催状況
 日時: 令和7年11月3日

11人参加



○西方城跡関連

	日程	参加者数(人)
シンポジウム	12月21日	400
西方公民館講座(1回)	10月22日	30

○西方城跡シンポジウム開催状況



○栃木城跡関連

栃木公民館講座(4回)		
講座名	日程	参加者数(人)
栃木城の特徴	9月17日	19
栃木城跡現地見学	9月24日	20
栃木の城の紹介	10月1日	16
西方城	10月8日	13

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度
		令和7年度 掲載紙等
とちぎ歌麿交流館 歌麿が描いた浮世絵の複製等展示	令和7年4月24日	毎日新聞
貴重な蔵 じっくり見学 栃木6カ所ガイドが説明	令和7年4月29日	下野新聞
大河ドラマにも登場する喜多川歌麿と栃木の縁 とちぎ歌麿交流館	令和7年6月10日	まっぷる栃木'26
気になるとちぎ 話題の人に聞く ”べらぼう”な文化を発信	令和7年6月11日	下野新聞
お掃除で日本を学ぶ Travis Japanの蔵ピカ	令和7年7月26日・8月2日	フジテレビ
時代の”今”をご覧ください	令和7年7月30日	下野新聞 アスポパレット
おはよう日本 特集 大河ドラマ「べらぼう」と栃木市のつながりをたどる旅	令和7年8月27日	NHK総合
栃木・大平産ブドウ100%ワイン、欧州に手掛ける仏国公認醸造士の男性、醸造所設立へ	令和7年9月11日	産経新聞
ふらっと「歴史建物」探訪 NO.510 嘉右衛門町	令和7年9月19日	週刊ポスト 十月三日号
大河ドラマ べらぼう～蔦重栄華乃夢断～(第40回) 紀行	令和7年10月19日	NHK総合
ふらっと「歴史建物」探訪 NO.514 栃木の川と街道	令和7年10月27日	週刊ポスト 十一月十四日号
所さんの学校では教えてくれないそこんトコロ	令和8年1月23日	テレビ東京
映像通報活用 文化財守れ 伝建地区 防火デー訓練	令和8年2月2日	下野新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

栃木の歴史的風致に関する内容がテレビや新聞等で多数報道された。これらの報道を通して、歴史的風致の維持向上に関する認識が高まることが期待される。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



蔵見学会の様子①(古久磯提灯店見世蔵)



蔵見学会の様子③(旧金澤呉服店)



蔵見学会の様子②(太田家見世蔵)

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和7年度

項目

観光客入込数の推移

計画に記載している内容

歴史や伝統が広く市民に再認識され、郷土に対する誇りと愛着が生まれることにより、祭礼行事など、地域行事への積極的な参加につながり、地域の伝統文化が次世代へ大切に受け継がれていく。また、栃木市固有の魅力が向上することにより、観光振興等を目的とした交流人口の増加へとつながり、地域活性化が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

市民協働によるおもてなしの推進や、観光資源の磨き上げなどにより、リピーターや新たな観光客の獲得に繋がったことで、観光客入込数は、平成28年に初めて6,000千人を超え、その後も横ばい傾向にあったが、令和元年東日本台風による被災、令和2年頃から感染が拡大した新型コロナウイルス感染症の影響などにより、観光客が激減した。コロナ禍から落ち着きを見せ始めた令和4年には「とちぎ秋まつり」等のイベントも再開し、回復傾向にある。

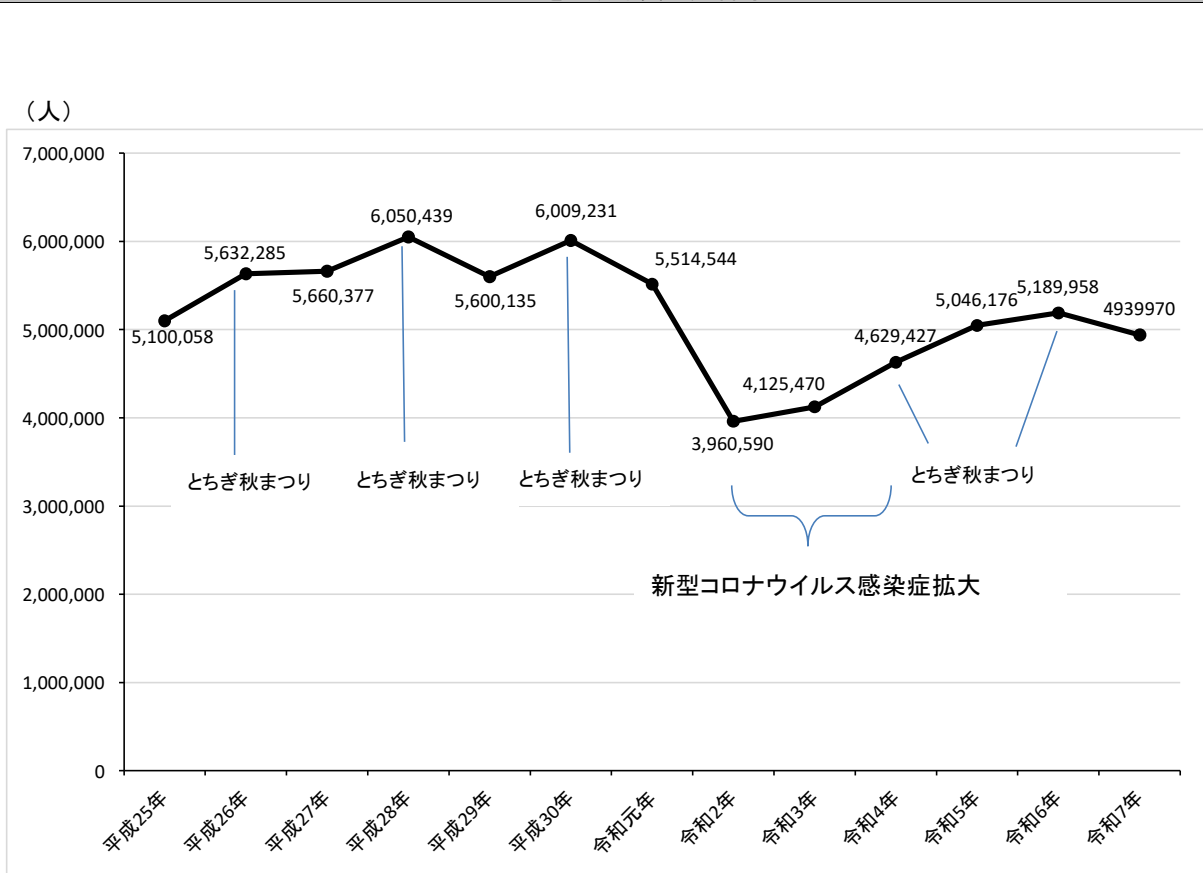
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



栃木市観光客入込数の推移

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和7年度

項目

大河ドラマを活用した周知による本市の認知度向上ならびに観光客数の影響

計画に記載している内容 市内外の来訪者をはじめ、栃木市を訪れる外国人観光客に対して各種プロモーションや観光施策を展開する。また、歴史的風致の維持向上のため、歴史的風致形成建造物の積極的な公開・活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

本市にゆかりがある浮世絵師・喜多川歌麿が登場する令和7年1月より放送された大河ドラマの放送に合わせ、歴史的風致形成建造物を活用し歌麿と栃木について発信をするほか、見世蔵の奥の住居部分を公開することで、歴史的な建物に興味を持っていただくことを狙いとしました。大河ドラマを活用したイベントや報道により、本市と蔵の街の認知度向上を図った。大河ドラマに関連する展示会を重点区域内の複数個所で開催することや、重点区域内の歌麿ゆかりの地を巡るデジタルスタンプラリーの開催により、周遊の向上に寄与した。また、大河ドラマ+栃木市の冊子を作成し、市内の市有施設や他の大河ドラマゆかりの自治体等で配布することで、本市のPRに努め、認知度向上に寄与した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

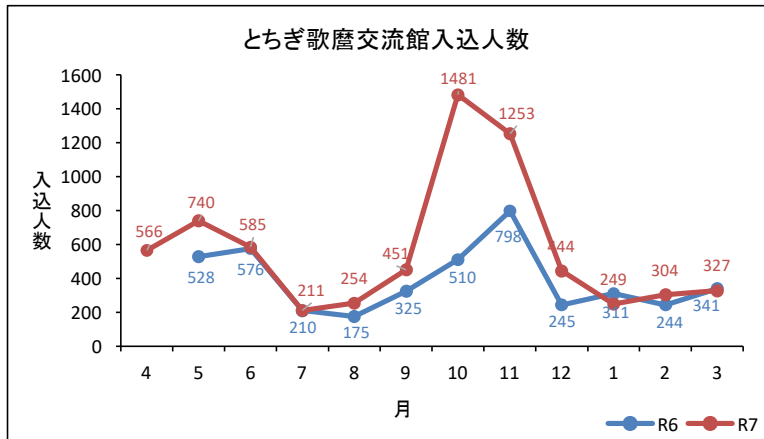
大河ドラマの放送が終了し、観光客が減少してしまう可能性があるため、今後も継続的に魅力発信を行うことでリピーターの獲得や新規観光者の獲得を図っていく。

状況を示す写真や資料等

〇とちぎ歌麿交流館の開館(R6.6~)



▲大河ドラマ+栃木市のPR冊子
栃木市内で配布したほか、ドラマゆかりの自治体(東京都台東区・静岡県牧之原市・福島県白河市)で配布を行った。



▲とちぎ歌麿交流館 令和6年度・令和7年度の入込人数の推移
大河ドラマ放送期間の令和7年度の方が入込数が多い。
令和7年10月・11月は、歌麿まつり等のイベントの他、ドラマ後のゆかりの地紹介に取り上げられたほか、新聞やテレビにて取り上げられることが多く、入込人数は前年の倍以上となった。

栃木市制15周年記念
第14回歌麿まつり ~歌麿の愛したまち とちぎ~ 関連イベント

歌麿ゆかりの地スタンプラリー

江戸時代の浮世絵師「喜多川歌麿」は、栃木市にゆかりがあるとされています。歌麿ゆかりの地を、歌麿と栃木PRキャラクターと共にスタンプラリーで巡りましょう！

参加方法
① 栃木市観光ガイドアプリ「蔵ミュージー」をダウンロード
アプリダウンロードはこちらから

② 歌麿ゆかりの地を巡ってスタンプゲット！
歌麿ゆかりの地に立つと、スタンプアプリページとQR撮影ページが表示されます。
スタンプゲットをキャラクターと一緒に写真撮影！
※スタンプポイント：アプリ内で確認ください

③ 集品交換
6ヶ所全てのスタンプを集めると、歌麿と蔵のPRキャラクターオリジナル缶バッチをプレゼント！
※缶バッチは1ヶ月の限定です。なくなり次第終了となります。ご了承ください。
※集品交換場所：とちぎ歌麿交流館(令和7年度は白河駅前)

▲デジタルスタンプラリーのチラシ。



画面のスクリーンショットを撮影してコレクションしてください。

©歌麿を活かしたまちづくり協議会

▲押印スポットでは、イメージキャラクターと一緒に写真撮影が可能。

評価対象年度 令和7年度 ・法定協議会等におけるコメント
コメントが出された会議等の名称: 令和7年度第1回栃木市歴史的風致維持向上協議会
会議等の開催日時
①組織体制 【歴史的風致維持向上計画の実施体制】 ・適切に組織され、運営されている。 ・エキスパートとして、長期で担当する人材を育成し、よりよい計画が練られ、継続していけるようにしていただきたい。
②重点区域における良好な景観を形成する施策 【都市計画法との連携】 ・中心市街地の蔵の街について、具体的な伝建地区指定を進めてほしい。 【屋外広告物について】 ・市屋外広告物条例の制定を速やかに進めてほしい。 【重要伝統的建造物群保存地区との連携】 ・伝建地区の環境保全、整備を進め、それを活かすには、人が集まるための企画と、楽しめたり学べたりする場(特に建築物)が必要である。休む場がなく、食事をする場が無いのでは保全や整備が進んでも、活かすことはできないのではないかと思料する。
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項 【嘉右衛門町伝建地区拠点施設整備事業】 ・蔵、煙突、釜、その他の建造物の保存修理、広場整備等大事業が続く。保存を中心に据え、適切な活用を図る計画を実施してほしい。 【伝統的建造物公開活用事業】 ・大貫邸をはじめ、伝建地区内の伝統的建造物について、適切な保存、公開活用事業を進めてほしい。 【嘉右衛門町伝建地区修理等事業】 ・修理だけではなく、修景事業についても積極的に取り組み、伝統的町並みの連続性の維持、向上に努めてほしい。 【歴史的町並みに関する修景補助事業】 ・表側からは見えないが、屋根や壁が傷んでいる建造物が多く見受けられるが、そのままにしておいて、いざ危険となった時に修理するのでは間に合わなくなる。外観の修景整備とともに、表からは見えない屋根や壁、その他の調査や修理をお願いしたい。 【景観形成重点地区指定に関する調査事業】 ・重点地区に向けた取組みとして、ロードマップと共に、取組みを再開し、進展させてほしい。 【無電柱化事業】 ・「無電柱化事業対象路線」は嘉右衛門町伝建地区内であり、早急を実現してほしい。 【渡良瀬遊水地環境保全事業】 ・猪(野犬)等の被害も大きいと聞く。この対策についても一考いただきたい。 【文化財データベース整備・発信事業】 ・国県指定の文化財だけではなく、登録文化財、伝統的建造物、景観重要建造物、歴史建造物等幅広く文化財データベースを整備、発信することを望ましい。 【歴史・文化に関する解説ボランティア人材育成事業】 ・ジャンルによって案内の場所が変わる。ボランティアの説明に市バス等も使えるとより多くの要望に応え、また集客も増えると思料される。 【嘉右衛門町伝建地区及び周辺整備事業】 ・無電柱化事業については、既に他県市の伝建地区で多くの事例がある。これを学んで早急を実現してほしい。 ・無電柱化以外にも、裏側への配線により街道側を無電柱化する方式も併せて検討しても良いと思料する。 【公共サイン整備事業】 ・費用はかかるが、人目を引くためには、デジタルサイネージも検討の対象にしていただきたい。それを使うことで、見た目も良く、観光の方へ多くの情報をスムーズに伝えられる。可能ならば、ネットワーク型の物を検討いただきたい。
⑤その他 ・全体として、着実に歴史まちづくりが進展していることが実感できるが、事業がバラバラや逆に重複していると感じられるものもある。整理、精査してより効果があげられるようにしてほしい。なお、中心市街地の伝建地区指定は、喫緊の課題と考える。
(今後の対応方針) 本市の歴史的風致維持向上を図るため、各慣例法令や条例等に基づき、整合性を図りつつ事業を進めてまいります。また、各事業については、実態や課題に応じた取組みの推進を行い、本市の歴史的風致維持向上に努めてまいります。